

THE KOBECO

APRIL 1973 NO.144 4 神戸つ子



神戸つ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可
昭和48年4月1日印刷 通巻144号
昭和48年4月1日発行 毎月1回1日発行



49/25

R. KOISO



婦人服飾
神戸 **ベニヤ**

NEW
CLASSICAL
FASHION

《女らしさの追求》

神戸

三宮センター街 391-5528・9
さんちかレディス・タウン 391-1204
大阪

梅田阪急三番街 372-8093

上本町近鉄百貨店3F 779-1231

ミナミ地下センター 213-6128

東京

日本橋東急百貨店1F 211-0511

モデル 浦谷 三世

PHOTO 藤原 保之

ミキモトは、たくさん
愛のはじまりを知っています。
指を、胸を、髪を飾り
幸福の日々へ向つて実っていく愛を。



世界の宝石店

MIKIMOTO

●大阪—高島屋・阪急・松坂屋・近鉄アベノ店

●神戸店—三ノ宮—神戸国際会館 TEL. 221-0062

●大阪支店—堂島—新大ビル TEL. 341-0247

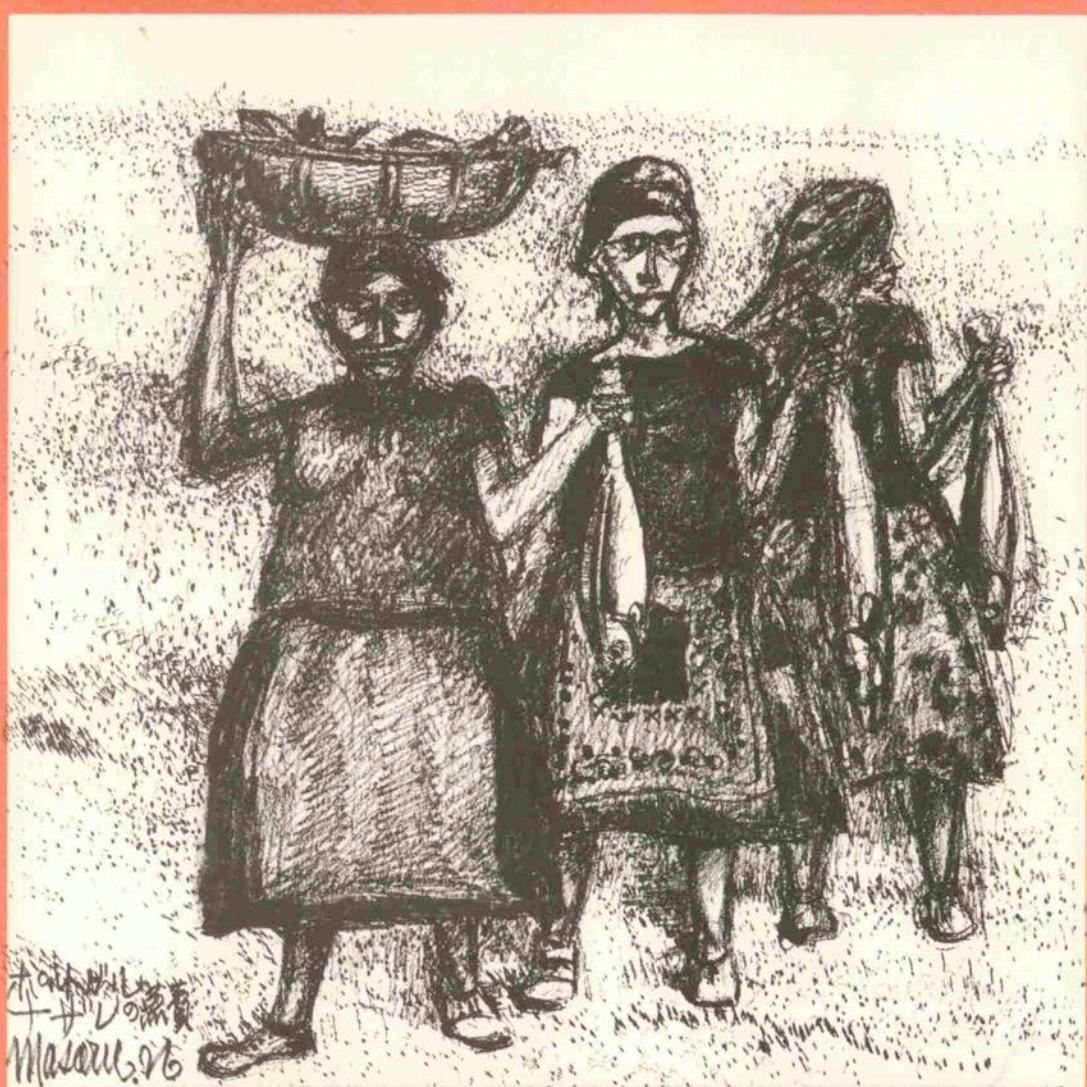
●京都支店—河原町蛸薬師 BAL TEL. 241-2970

●本店—東京・銀座 TEL. 535-4611

©—1973

株式会社ミキモト

私は外へ出て見た<34> —— Portugal ナザレの魚売り



白い家 ナザレの海青い 船の色どり
七枚のスカートをはき重ねた娘 色とりどりの
モンペズボンの男 イワシを焼いてブドウ酒で食う
天下無敵の色どり

踊る妖精

加藤きよ子

（モダンダンス）カメラ・藤原保之

「私、踊っている時が一番楽しいのん！」と天心瀧漫に笑うのは関西でも数少ない若手モダンダンサーの加藤きよ子さん。福岡で生まれ、12年前神戸の今岡頌子舞踊団に入会。ダンスに生き、ダンスに命を賭ける彼女、三月二十四日には初めて自分で演出したモダンダンスを芦屋のルナホールで見事に演じた。「小柄な体を最大限に生かした踊りが最近できるようになつた。訓練を積み重ねた踊り手だけに彼女は貴重な存在。これからが楽しみな踊り手です」と今岡さんの期待も大きい。今後は「女を踊りで表現できるようになるのが課題」といい、「思いっきり踊り狂いたいの」とくつたくななく笑う。今は後輩の指導にあたる傍ら、六月（ルナホール）と九月（国際会館）の舞台にそなえて毎日若い汗を流している。

（写真・三宮の今岡モダンダンス研究所にて）



真珠とサファイアのブローチWG Y175,000



TASAKI PEARLS

◎本社・神戸市葺合区旗塚通6-9 TEL.231-3321◎さんプラザ店・神戸さんプラザビル3F TEL.391-4085◎パールファーム神戸・神戸市灘区六甲台町24 TEL.871-9289◎大阪プラザ店・大阪ホテルプラザ内TEL.458-2449◎大阪心斎橋営業所・大阪市南区安堂寺橋通3-34南大和ビルTEL.253-0165

田崎真珠

カタログご希望の方は上記までご連絡下さい。◎あなたの真珠はパールマークのお店で日本真珠小売店協会

日本をつつす

小山 保

写真家 カメラ・米田定蔵

スラッシュとした長身と鋭い目。対象を適確にとらえ、映像を鮮明にフィルムに焼きつける。

小山 保。44歳。13年前からカメラを手にし、地元の写真家、堀内初太郎氏に師事、雑誌の月例コンテストなどに出品しながら腕を磨く。アマチュア時代は心象的な写真を撮っていたが、3年前「日本写真家協会」に入会、プロとしての道を歩みはじめる。小さい頃からものを作るのは好きで、一時詩を書いていたこともある。一昨年は車でシルクロードを通つてヨーロッパへ旅行し、その時の記録「アフガニスタン展」を神戸と東京で開いた。海外での体験が日本を見直す機会となり、「これからはもっと日本の風土を撮つていきたい。ディスカバー・ジャパンです」と抱負を語る。現在本誌にも「コウベ・ある視角」を連載中。ぐるっぺひょうたん所属。兵庫区在住。



確信を持ってタジマの眼が選んだ
宝石の名品



宝飾店
Tajima タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に応じておりますのでお気軽
にご利用下さい。定休日は月曜日です。



ある集い★ 関西トーストマスターズクラブ

流暢な英語が表現力豊かな身振りを混えて、滔滔と述べられる。毎月二回、第二・第四火曜日の夜開かれる関西トーストマスターズクラブ例会の臨場風景だ。

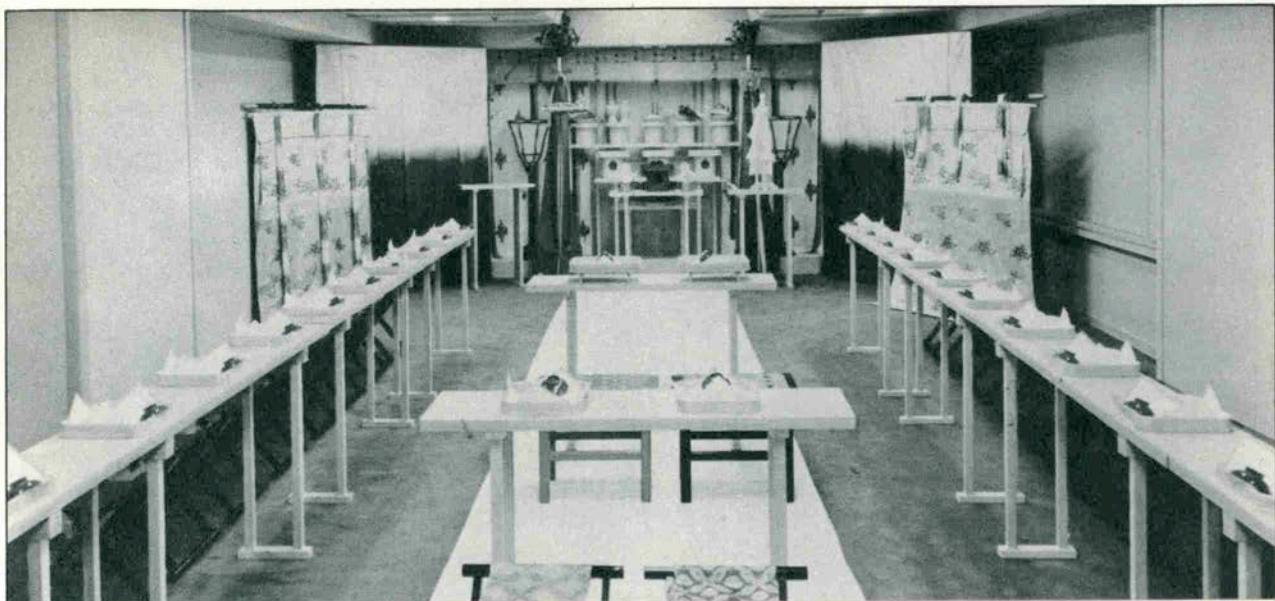
単なる社交クラブや、英会話クラブではなく、国際的視野と、豊富な知識の涵養とメンバー相互の心の交流を計ることを意図するクラブである。

その日のスピーカーに対して批評をおこなう時にはあくまで、スピーカーに対して好意を以て評し、スピーカーもそれを快く取り入れ、次回のスピーチの折には見事にその指摘された箇所は改められており、厳しく中にも和気合々とした雰囲気に包まれている。

時にはパーティやバザーも催し、そのメンバーが国際的であるということもあって、風俗・風習の違いをも学びながら楽しく活動参加出来るクラブである。

★前列左より、門田弘敬、ナイスリー・J・G、池田龍雄、サミュエル・G・F、バーク・B・L、後列左より、岩崎嘉蔵、土岐峰、フィッシュ、太田徳一郎、森田剛彰、岡口秀男、才原敬志、山本照教、山根邦雄、田丸博治

（連絡場所）
東灘区北青木一丁目二ノ四八
池田龍雄・TEL(四三二)二三七三



晴れの日を より 豪華な思い出に

神戸タワーサイドホテル 結婚式場

ホテル6階.....
式場・着付室から写真室までゆき
とどいた設備が魅力。

挙式日のご宿泊は半額にご優待!

ご披露宴

お1人様 ￥2,500→￥5,000
(お料理・お飲み込み)

30名様セット ￥135,000

(挙式料・お料理・お飲み物)
(写真・卓上花・税サ込み)



阪神電鉄グループ

神戸タワーサイドホテル

神戸市生田区波止場町1番地(中突堤)

TEL 神戸(078)351-2151(大代表)

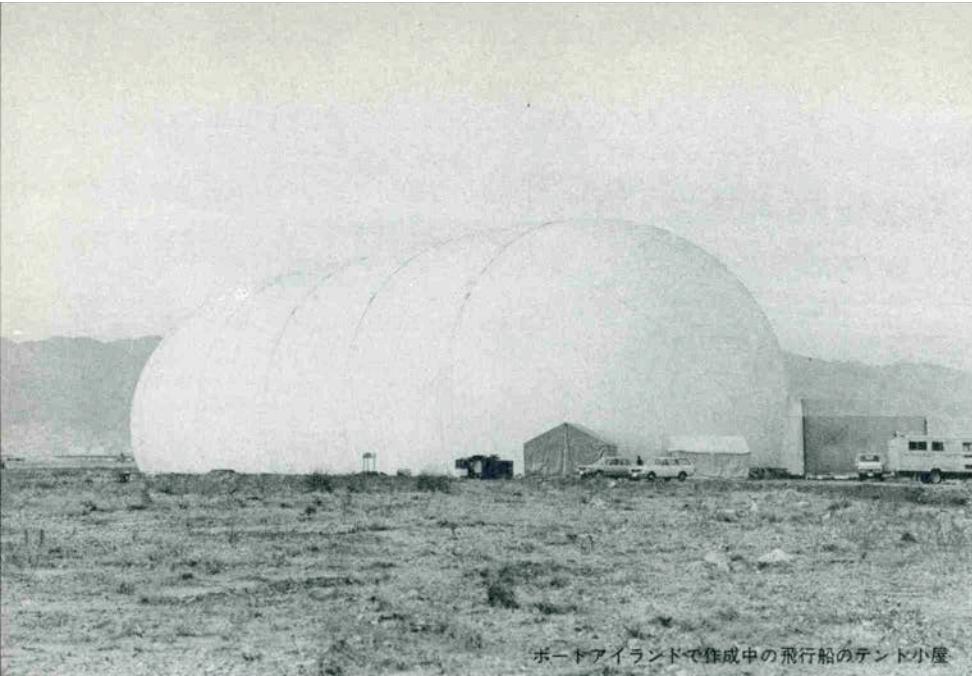
宴会予約直通 371-0433

ゆろーんと飛行船春の空

機体に絵を描く

岡本太郎氏来神

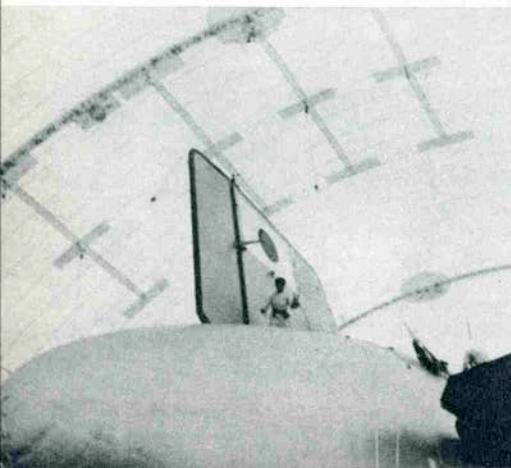
コウベスナップ



ポートアイランドで作成中の飛行船のテント小屋

かねてからポートアイランド沖に作成中の飛行船に岡本太郎氏が絵付けのため来神した。同氏は、白い雄々たる飛行船を、大きな空飛ぶ魚にしたてて、太陽コロナの燃える焰の瞳を一際鮮やかにデザインした。4月初旬には、神戸のたゆとう春海みおろしながら、ゆろーん、ゆろーんと上ってゆく長閑にユーモラスな光景が見られそう。

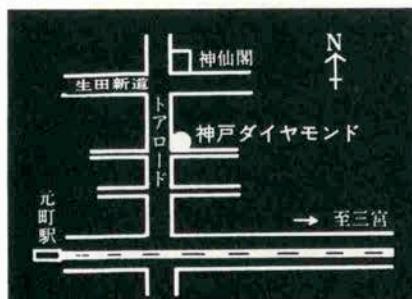
飛行船の絵のデザインに熱中する岡本太郎



根雪路地に
薪を割る音
父居る音
<三樹彦>

高山郊外・飛驒の里

伊丹三樹彦の写眞シリーズ 5



★神戸っ子の楽しい花と太陽の祭典

'73神戸まつり5月19日20日

〈前夜祭／土曜・日曜日〉

'73 そごうのテーマ
歓びのうた
—“まつり”



“青年広場にて”
'72神戸まつりより



中山 三津子さん

〈そごう〉の'73の統一テーマは〈歓びのうたまつり〉。すなおに歓び、感動し、心と心のふれあい、歌い、笑い、踊るまつりは、歓びの場であり心のふるさとです。わたくしたち従業員の一人一人は、毎日の応待、対話を通して、お客様との心のふれ合いを深めてゆき、ともにこの歓びを分かち合いたいと思っております。



SOGO
SANNOMIYA KOBE

神戸のディテール

Detail of KOBE ^{^2}

石阪 春生

写真／杉尾友士郎



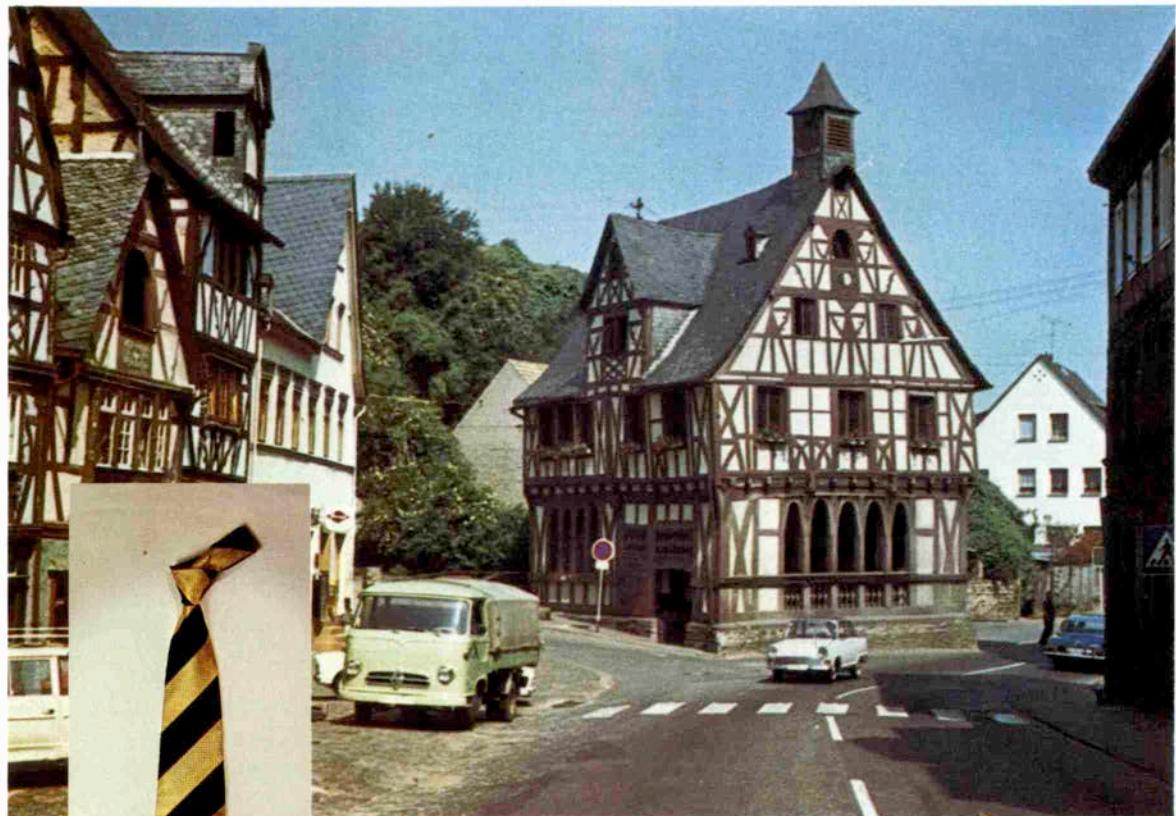


巴里野



●メニュー
2F カウンタ
スコッチウイ
コニャックフ
3F
スコッチウイ
コニャックフ

西ドイツの旅 <14> Rhens



HAMBURG



ネクタイの
元町バザー

神戸元町1丁目 TEL331-1401・7031

東京  東急 百貨店

渋谷本店／日本橋店

■にしむらとエトランゼ® アメリカ

ロバート・オースミスさん
（ノースウエスト航空大阪マネージャー）

にしむら珈琲は神戸の味がする

センター街にしむらにて



宮水COFFEEの にしむら 珈琲店

中山手本店(中山手1丁目電停前)221-1872 午前8時30分-午後11時

石屋川店(阪神石屋川駅浜側)841-0763 午前8時-午後10時

センター街店(三宮センター街)391-0669 午前10時-午後10時

Thoughtful Gentleman

アメリカンに情熱

燃やす三浦さん

三浦 清さん
<神戸マリン商事社長>

関西アメリカンフットボール協会の副会長として後輩の育成に余念のない三浦さん。スポーティーな着こなしも堂に入ったものだがブレザー、スラックスともウネを愛用とのこと。今日もグラウンドに三浦さんの厳しい眼が光る。

カメラ／藤原保之 磯上グランドにて

世界のオシャレをとどけする

ウキ

神戸元町1丁目 TEL 331-3112
東急百貨店 渋谷店・日本橋店



これは神戸を愛する人々の雑誌です。
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸つ子の手帖です。

4月号 目次

表紙／小磯良平(部分)

SECOND COVER／私は外へ出へ見た(34)中西

神戸つ子73／加藤きよ子・小山 保

ある集い／トーストマスターズクラブ

コウベスナップ／飛行船

神戸のディテール(2)

わたしの意見／田中一光

随想三題／浅木幸雄／堀郁子／田中

ある集いその足あと

れんざい隨想(1)／橋本憲吉

れんざい隨想(2)／津高和一

隨想／志村雅久

神戸つ子座談会／難波 還／福富芳美

煙 専一郎

Y. KOBE(2) 简井康隆

経済ボケットジャーナル

フアッシュン都市への道

元永定正／新谷琇紀／森本泰好／貝原六一

芦原博之／松谷 浩／浅田 勇／岡部誠一

飯田 守／細川數夫／板野惇子／竹馬準之助

技術ジャーナル／諸岡博熊

飯田守／細川數夫／板野惇子／竹馬準之助

ボエム・ド・コウベ／伊勢田史郎

エレガанс・コウベ

週末ファン・コウベ

動物園飼育日記／亀井一成

フアッシュン都市への道

恋占い／神戸立見席／淀川長治

女体百景／H.ジュニア

びつといん

神戸百店会だより

ボケットジャーナル

連載小説異人館物語／小山牧子・え石阪春生

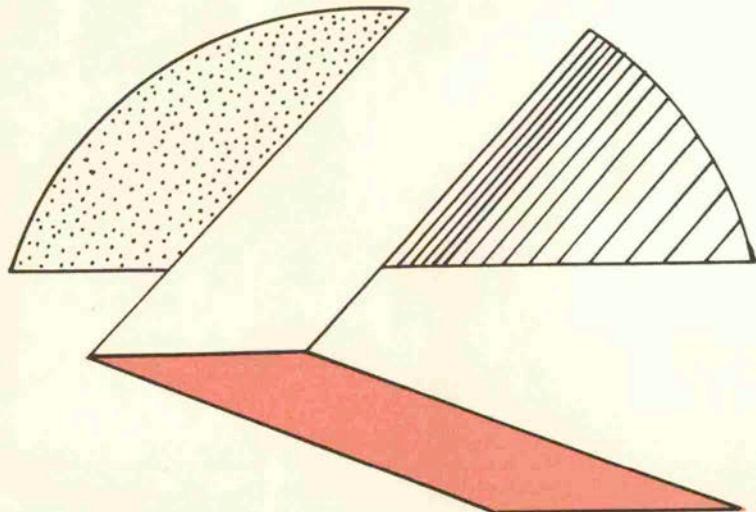
連載小説曲線ハイウェイ／武田繁太郎・え横塚繁

神戸の催物こあんない

SKOB ある視覚／小山 保

海・船・港／練習船「銀河丸」を訪ねて

matsutani





やさしくてあま~い春なのです。

Something
&
me

東京・キンザ

San-ai 三愛
三宮店 センター街さんプラザビル2-3F
AM11:00~PM8:00 ☎391-6861

□わたしの意見

神戸の街と ファッショ

田中 一光

〈グラフィックデザイナー〉



ファッショーンとは旺盛な感受性のうえにはじめて成りたつもので、私は次の二つがファッショーンを触発させることのできる大きな要因だと思う。

一つは、異質、未体験のもの、つまり珍しいことへの好奇心。もう一つは、アンチテーゼ、既存の画一的なものへの反発である。こうしたこととが軸となつて、創られ、変化し、そして共感する多くの人たちのエネルギーによつて、ファッショーンは生れてゆく。

神戸は明治以後、海からの異国文化の荷揚げの場として、ながいあいだ日本の近代文明の窓口であった。翻訳まえの、なまの原著の重みと、それを選ぶ眼が神戸にはあつた。しかも、神戸のファッショーンは、単に情報にとどまることがない。外国人が神戸の街に住みつくことによって、彼らの日常生活の中から、風習や伝統、思考まで、その西欧文化全体を吸収していった。だから、神戸のファッショーンが、関西の他の都市とは大きく異つていて、色柄や型が、「ニュー」であると同時に、そのこなしの見事さでも「トップ」であった。つまり、ファッショーン、人間、環境の三つが、えもいわれぬアカぬけした調和をつくっていた。しかし、情報が電波に変り国際的な交流は、船から飛行機へと移りつつある現在、日本のファッショーンをリードしていた神戸の位置は、次第にむずかしくなつてゆく。ファッショーンは元来、民衆のなかから自然発生的に生れてくるものであつたが、マスプロ、マスコミの時代になつて人工的に演出されるものになり、それが現代では、その二つの区別がつかない現象がおこつている。それは、企業が大量生産する画一的なものに、若い世代が反抗はじめたからだ。ロンドンのヒッピーが、ケンジントンに独特なマーケットをつくつたりしているのも、その表れである。つまりファッショーン多様化の時代だ。ともあれ、明治以降、海外のさまざまな文化を受け入れ、ファッショーンに対する鋭い選択眼を培つてきた神戸の街は、再びファッショーン都市への可能性を十二分に秘めているといえるであろう。

ひとつの時に生きる二人のための
ロンジン・ペアウオッチ



ロンジンのペア・ウォッチは二人の心を結ぶ。

ロマンチックな時計です。

最も種類がそろっているロンジンのペアウオッチ
からお好みのタイプをお選びください。

LONGINES

特 約 店

美 田 時 計 店

元町店・元町三丁目 TEL331-1798

三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL331-8798

LONGINES

Ref.8361. ¥47,000

Ref.8363. ¥47,000

隨想三題



カット／大石可久也

私は、甲南大学を卒業すると同時に、家業をつがず一人憧れの地であったフランス、リヨンへと希望に胸をふくらませて飛びだした。とはいものの、不安と期待がまじりあつたものではあった。案の定、フランスに着いた私を待ち受けていたのは、語学力（フランス語）に対する失望感とフランス人の個人主義に対する不満感であった。

私のフランス語が通じたのは、
パリのホテルのフロントだけ。リ
ヨンに着いたところで例の失望感
と不満感が増すばかりである。

リヨン大学へタクシーに乗ったのであるが、口頭では通じないので、リヨン空港よりパンフレットを見て始めてエンジンをスタートさせるあります。そうして

たどりついたのは大学の正門で、それから入学手続きをしていた法学部の建物まで、大きな荷物をかかえて歩く私には一時間が五時間以上にも感じられた。

入学手手続きもすんなり受け付けられたわけではない。フランス語が通じないので、少しはましだった英語で話すとわかるらしく、いろいろの手続きが進んでいくのだが、返答はフランス語のみ。最後にア

プリケーションホームへの記入については、少し離れた机に陣取



北野クラブディレクター

第二の故郷 フランス

第二の故郷 フランス

り、辞書をひきながらようやく完成、それを五、六カ所も訂正されてしまって、まずまず入学、とあいなつたのである。

その最初の旅行には母が同行したが、私のもたつきぶりを見て異国之地に一人で私を残すことの心配は、当の私がその後に対して抱いた不安よりは、はるかに大きなものだったと思う。

日本人がリヨンに住んでいるところから知らない私の生活は、このようにして始まつていった。フランス語を話さねば生きていけない。だから、日本語ができる限りのところから直ぐに私で、考えなによ

うにした結果、三ヵ月で一応いいたいことは何とか伝えられるようになり夢もフランス語になった。そうした苦労が今の私を支えているところが多いのはいうまでもないことだ。また、二年半に渡ること、神戸を離れて神戸を見るこ

ト、日本とヨーロッパのエチケット、マナーの隔り、利己主義ではない個人主義の物の考え方etc……。それらを総括しての感想は、日本人とヨーロッパ人は子供と大人のように思えるということになるだろうか。

しかし、その日本にあつても、

海外へ目を向けることに関しては、一番進んでいる神戸、それは神戸っ子としてもおおいに誇れるところであろう。願わくば、もつともっと情報産業の中心に、また、世界の玄関口として大きく豊かに発展して欲しいのだ。

パリ・ローマの旅

堀 郁子
（ヒル ゆうこ）

パリのことは、何度も歌いつづけてきた。『パリの空の下』、『パリ野郎』、『モンマルトルの丘』、『ラ・ヌ』、『ミラボー橋』……。私は日本を飛び立つて冬のパリの街に立っていた。パリのことは、すべて語りつくされ聞きつくさねていたけど、先ず自分の目で見たパリは、やはり素敵！

朝早くおり立つてまずバスに乗り、市内の有名な場所を廻る。かねて神戸から約束していた二人のカップルの結婚式——すでにエア・フランスの機長さんにシャンパンを頂いてきた二人だけど、同行のメンバーより、栗塚旭さんにお願いしてバスの中全員四十名の見守る所で簡単に式をすることになり、アヴェ・マリア』『愛の讃歌』を歌う。バスの運転手も、私も一曲と『小さな幸福』というシャンソンを



ローマの店イルカバリエルでの楽しいひととき 中央堀さん

ンを歌いながら、車を走らせてくれた。まず、歌で初まつた今回の

私は、エツフエル塔や、凱旋門それに日曜日だったので、ミサの響き渡るノートルダム寺院、セーヌ河を何とも言えぬ感激をもつて眺めた。そして夜のパリ、ネオンのない街灯だけの街並——それにくつきりと夜空に浮ぶ色々の建築物——。文化遺産のすばらしさをつくづくと思った。リドのショールも面白く一米七五厘以上のダンサーは性別不明の人もいるとのこと。

次の日のパリは雨だった。『小雨降る径』とシャンソニンにあるように、誰も傘もささずに歩いていく。私も友人とシャンゼリゼやサントノーレ、サンジエルマンデュブレの方を何時間も歩き廻った。夜、待望のシャンソニエを訪れるよ

うと、モンマルトルの方に車を走らせたけど、パターシュも、ラパンアジルも、月曜日でお休み。この夜、パリに住んでる、かつて私が神戸でシャンソンを教えたことのある女性に再会し、彼女の案内、カボウ・デ・ズブリエットという、地下の酒場を訪れる。いかにも何かのありそうな暗い酒場、しかし陽気なシャンソン歌手四人がピアノ伴奏で、めいめいのレパートリイを歌ってくれた。特にビロードの赤いベルとズボンの老シャンソニエの『モンパリ』は気に入った。私もここで何となく『枯葉』を歌い、トレビアンといつて大いに拍手を受けた。まだどこかへ行きたいという私を無理にホテルに連れて帰って、明日からのローマの旅にそなえることにした。

ローマの夜、食事を楽しみながらカントンツオーネを聞かせる店、イタリアンカバリエルでは、日本人の客も多く、可愛い歌手が日本語で上手に“喝采”を歌ったのには驚いた。私も負けじと、“ラ・ノヴィア”を歌い、また、オペラ歌手のジユが少々廻って来て楽しく皆と歌つた。次の日、馬車でとことこ二時間ほどローマの街を散歩したり、グッチの店で買物をしたり、ローマは一日にして成らず”と

思いつつ歩いた。ローマ最後の夜は魚料理が自慢のコルセッティでの食事——。仏語、伊語、日本語色々混ぜてオーダーする、ジャボン、メロン、えび、貝等とても美味だった。それにまた、カンツオーネ歌手とともに『マレキアーレ』等唄い、美人で私より数倍大きい(?)歌手がきれいな節廻しで、アモーレミオを歌ってくれた。この店を出る時、チャオ・アモーレと皆が拍手して送り出してくれた。楽しい旅だった。

田中益雄
(神戸大丸婦人服部長)

アモーレミオを歌ってくれた。この店を出る時、チャオ・アモーレと皆が拍手して送り出してくれた。楽しい旅だった。



ファッショングの源

田中益雄
(神戸大丸婦人服部長)

昨年十月に第一回の出張を命ぜられて百日ぶりに、再び第二回目のイタリーへの商品買付け出張をした。

特にモード品の買付けであるにも拘らず、フランスを通りしてイタリー主体に絞りさらにミラノ、フィレンツエの二都市とその周辺のみに行動範囲を限ったのには、

いろんな理由があるけれどもまず輸入後の販売展開を考えた場合にファッショング性と同時に販売価格とその量が当然問題になるわけでヨーロッパ内でも高級品消費国としての位置づけの高いフランスに比較し、最近ファッショング衣料関係の生産国の立場としてそのモードが注目されてきたイタリーメード、その中でも特に都市としてのあらゆる魅力を秘めているミラノフィレンツエの二都市はショッピングタウンとしても参考にするところ大であろうとの分析からである。

結論からみてみると、二回で延べ二十日余りの日程という限られた条件下ではあつたが期待通りの答が纏めつつあるような気がしている。

さらに帰国後に神戸市がファッショング都市宣言を政策強化の面から打ち出され、ファッショング衣料産地としての産業振興とショッピングタウンとしての都市づくりをはじめ、数々のボリシイを具現化されつつあることを知った。国際港都のもつ異国情緒性と昔から洋服の着こなしの巧みな神戸女性の持つファーリングが、イタリーの中堅都市であるミラノと似かよつたところが数多くあるように感じたし、現にフランスモード発祥地パリに於ける婦人服飾コレクショ

ンのうちニット関係のミラノメード、絹関係のファレンツエメードの全体に占める比率が年々高まつてきていることや、日本からの旅行者がビジネス面からもショッピングの面からもさらには情報吸收の場としてもミラノに深い関心が向けられつつあるのではないかといつた観測からも、京都とファレンツエの関係以上に神戸とミラノの結びつきに注目をしていきたい。またファッショングとは常に華やいだもの、目だつものとしてばかりの分析ではなくシェアードなクリーンなものとしての志向はいつの時代にも底流にあるものという考え方を持っている。今後とも商品づくりに個性の發揮、オリジナリティの具現化を目指す意味から、遠視眼的に海外情報をおみとることから、直接体験的にファーリングとして纏みとる努力を続けねば意味合いが薄れると思う。今後は素材の良さ、素材を活かすカラー、生活にマッチした着こなしといったものも外地からおおいに学びとり提供していきたい。

今後輸入品の比重がさらに大きくなり、それゆえに重要な要素を持つだけにセンスと工業力のバランスを彼の地のどこに求めるか、また、どんな分業化があるかといったことも常日頃の研究課題とし精進を続けたいと思っている。

□ ある集いその足あと

私達の K・T・C

池田 龍雄

(今年度 K・T・C)



K・T・C 例会風景

関西トーストマスターズ・クラブは一九六五年秋に、K・門田、G・R・ケマニ、N・S・ワス、F・A・セレス等の有志が寄つて阪神地域にもトーストマスターズ・クラブを作つて英語によるパブリック・スピーチングの訓練をする場を持とうとしたのに始まり、当時のステグマイヤー米国総領事の肝入りで同年十二月下旬に正式にクラブとして発足したわけです。世代の断絶などが話題になるこの頃ですが、年輩者も若者もそれを打破して相互理解をするには必ずコミュニケーションをよくしなければならない。また、日本人対外國人の立場で考えてみてもコミュニケーションがなければ理解の系口もない、と言うわけで、トースト

マスターズ・クラブは Good thinking, good listening and good speaking をモットーにして遠慮なく自分の意見を述べてもらう場となつてゐるのです。組織化された現代社会においても總てのことはその代表たる人対人で始まり、究極においても人対人でまとめられていくものでいかに個人の持つ心、個人の使う言葉のニュアンスが重要な役割を果たすかは大方の人が経験していることだと思います。その個人の精神と技術を養いプラッシャップするのがトーストマスターズ・クラブの役目なのです。アメリカのカリフォルニア州サンタアナに本部があり、全世界に何千とクラブがあつて皆同じ目的で運営されています。

ミーティングではまず当日の司会者が選ばれ、初めから終了時まで司会を引受けます。前半は座談会で座長になつた者が会員にある話題の質問をしたり意見を求めたりすると、指名された会員は立つて答えるのですが、これは何の準備もなしに自分の意見を二分間にまとめていうのです。社会人として活躍しようとする人々にとつては、次に、前以て準備したスピーチを三人位が行ないますが、これは五分から七分、場合によつては十分、十二分のもあり、いかに

聴衆に訴えるような魅力あるスピーチをするかが競われ、スピーチに対しても評者が選ばれて講評をします。講評そのものも重要なパブリック・スピーチングと見られます。

ゲストは常に二~三名から四~五名あります。がこれ等の人々が競争感を味わうようなことがあってはいけないので注意が払われ、アーティストホール等、しかも連帯感を持つような気分になつてもらうよう努めています。男子ばかりの会なので時にはレディーズナイトとして奥さんやガールフレンド同伴のエーション・パーティを催すこともあります。このクラブは社交クラブではなく、パブリック・スピーチングを通じて生活の幅を広げし、その見方、考え方を高めるのが目的ですが同時に社交の基本である好意、親切、人種的無差別等をも知らず知らずの間に感じ取り、学び、身につけることができると思います。

在阪神の紳士諸兄、試みに一回でも私達のミーティングに御参會下さい。女性は会員となることはできませんが、参會は自由ですから淑女諸姉も御遠慮なくいらして下さい。会員一同期待しております。



●三宮の楽しいショッピング・オフィス街への出勤に
末積カーポートビル

近代的な
 立体駐車場
 150台OK



●普通車30分=¥100

スピーディな駐車 親切な応待 —

- 冷房完備・T V付の
 待ち合い室もあります。
- あさ8時——よる10時(日・祭日営業)



末積株式会社

神戸市葺合区磯辺通4丁目6番地ノ2

TEL 078 (221) 9887

